

東京都立八王子桑志高等学校 令和7年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	英語	科目：	英語コミュニケーションⅠ	単位数：	3	指導学年：	1
担当教諭：							
使用教科書	Big Dipper English CommunicationⅠ		副教材	Big Dipper English CommunicationⅠ workbook			
	(数研出版)			(数研出版)			

年間指導目標：

様々な題材を「読む」「聞く」「話す」「書く」という言語活動の四技能を多様に展開する。英語によるコミュニケーションの素地を作り、前向きで積極的な姿勢や、必要となる基本的語彙、表現、発音、文法基礎をフレーズリーディングやペアワークを行って練習する。理解、習熟した表現を使って外国人講師との授業で実際に応用して使えるようにする。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	英語の音声や語彙、表現、文法、等の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現できている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配当 時数
1 学期	中 間 考 査	L1 健康・学校生活 Have a Good Day with a Good Breakfast	(知)	各Part 本文の内容について、事実や自分の考えを整理し、語彙や、Hints for Understandingの言語材料、Hintsの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身に付けている。	○		○			18
		L2 社会・日本文化 A Mascot with a Mission	(思)	各Part 本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	○		○			
			(態)	自分の気持ちや考えを伝えるために、ターゲットとなる文法事項を用いて質問に答えたり、短い英文を書いたりしようとしている。		○		○	○	
1 学期	期 末 考 査	L3 心理・社会 Two Kinds of Leadership	(知)	各Part 本文の内容について、事実や自分の考えを整理し、語彙や、Hints for Understandingの言語材料、Hintsの語句を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身に付けている。	○		○			18
		L4 スポーツ・歴史 Older Sports and Newer Sports	(思)	各Part 本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしている。	○		○			
			(態)	自分の気持ちや考えを伝えるために、ターゲットとなる文法事項を用いて質問に答えたり、短い英文を書いたりしようとしている。		○		○	○	

東京都立八王子桑志高等学校 令和7年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	英語	科目：	論理・表現Ⅰ	単位数：	2	指導学年：	1
担当教諭：							
使用教科書	APPLAUSE English Logic and ExpressionⅠ		副教材	APPLAUSE English Logic and ExpressionⅠ workbook			
	(開隆堂)			(開隆堂)			

年間指導目標：
英語による言語活動を通じて、コミュニケーションを図る資質と能力を向上させる。
考える場を提供し、自身の課題を発見し、解決に取り組む経験を通じて意欲と技能を向上させる。
「学び方を学ぶ」ための方法と道筋を提示し、自身の学びを企画し実践させ、目標の設定と実現に取り組ませる。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	・基本的な英語の「文構造及び文法事項」を理解する。	・コミュニケーションを行う目的や場面設定から情報を整理し、解決に必要な要素を発見できる。	・自らの学習状況を振り返ることで課題を見出し、その解決を図る方法を設定することができる。
	・目的や状況設定に応じた英文の構成を理解し、表現できる。	・上記で得られた情報や要素から、自身の考えなどを形成し、適切な英語と論理で表現できる。	
	・論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えることができる。		

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配当 時数
1 学期	中間 考査	Lesson 1 My hero	(知)	動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。	○					12
		Lesson 2 Weather Forecast for Tomorrow	(思)	自分が尊敬する人物や天気予報について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		○				
		Lesson 3 Tips on Visiting a Japanese Temple	(態)	自分が尊敬する人物や天気予報について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。				○	○	
1 学期	期末 考査	Lesson 4 The Key to Learning Kanji	(知)	動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。	○					12
		Lesson 5 Home-Made Bread	(思)	ギネス世界記録や漢字を学ぶコツについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		○				
		Lesson 6 Guinness World Records	(態)	ギネス世界記録や漢字を学ぶコツについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。				○	○	

2 学 期	中 間 考 査	Lesson 7 Japanese Bentos Are Cool!	(知)	助動詞や受動態の意味や働きについて理解している。	○					16
		Lesson 8 Ready for Disasters	(思)	災害への準備やインターネット上の有益な広告について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		○				
		Lesson 9 Useful Ads on the Internet	(態)	災害への準備やインターネット上の有益な広告について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。				○	○	
2 学 期	期 末 考 査	Lesson 10 Who's the Girl Walking with you?	(知)	不定詞の意味や働きについて理解している。	○					16
		Lesson 11 Going on a Factory Tour!	(思)	観光名所について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		○				
		Lesson 12 A Sightseeing Spot to Recommend	(態)	観光名所について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。				○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	Lesson 13 If I Were Good at Cooking	(知)	関係詞の意味や働きについて理解している。	○					22
		Lesson 14 The Best Place for the Holiday	(思)	趣味や休日の過ごし方について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。		○				
		1年のまとめ	(態)	趣味や休日の過ごし方について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。				○	○	
合計										78